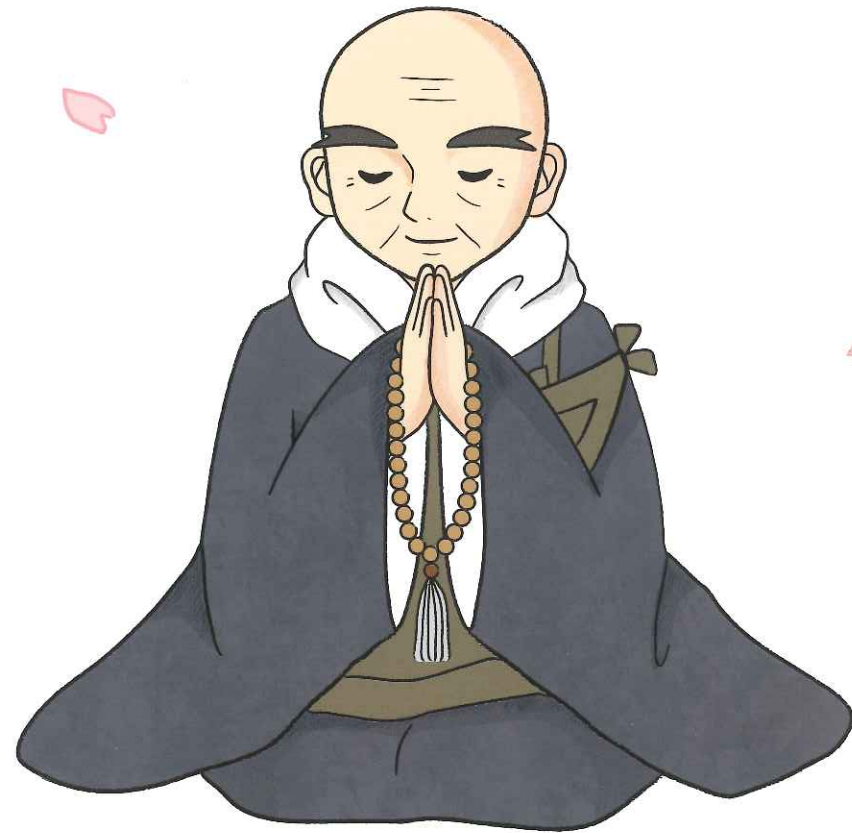


しんらんさま



しんらんさまのご生涯

| | | | | | | | |
|----------------|-------------------|-------------------|----------------|---|---|-----------------------------|----------------|
| 1262 (弘長2)年 | 1232 (貞永元)年 | 1214 (建保2)年 | 1211 (建暦元)年 | 1207 (承元元)年 | 1201 (建仁元)年 | 1181 (養和元)年 | 1173 (承安3)年 |
| 90歳 | 60歳 | 42歳 | 39歳 | 35歳 | 29歳 | 9歳 | 1歳 |
| 京都で亡くなる。 | 京都にもどってたくさんの本を書く。 | 越後や関東でお念仏の教えを伝える。 | 流罪を許される。 | お念仏が禁止され、流罪となる。 法然さまは土佐(今の高知県)へ、 しんらんさまは越後(今の新潟県)へ流される。 | お弟子になる。 夢で聖徳太子のお告げをうけて、法然さまの 比叡山から京都の六角堂へ百日間お参りにいく。 | 青蓮院でお坊さんになり、 比叡山で修行をはじめ。 | 京都で生まれる。 |

しんらんさまは、
1173年、京都で生まれました。

そのころは、いろんなところで争まじいが起おこり、
食たべる物ものも少すくなく、
そのため、病ちやうま気まにかかる人ひともたくさんいました。

しんらんさまは、幼おといころに、
お父ちちさまと、はなればなれになってしまい、
お母かあさまは病ちやうま気まにかかってしまいます。

「何なにもできない、どうすればいいんだろう…」
しんらんさまは深ふかく悲かなしんでいました。

